

平成 30 年度 居宅介護支援事業所ふるさと有瀬 事業報告

【基本方針】

ふるさとらしいサービスの提供とは常にサービスを提供される側の立場や気持ちを考えたサービスを提供することである

【年間目標】

- (1) 利用者の心に寄り添う接遇を実践する
- (2) 事業所運営の安定と拡大を図る
- (3) 在宅生活継続への支援
- (4) 関係機関との連携
- (5) 介護支援専門員としての資質の向上とメンタルケア
- (6) NO 事故を目指す

【実施報告】

- (1) 利用者の心に寄り添う接遇を実践する

安心、信頼され必要とされている関係性を築くことができるように挨拶や言葉遣い、身だしなみ、聞く姿勢、電話対応など利用者の気持ちに寄り添えるよう接遇マナーを身につけ、失礼のない対応を心がけた。

- (2) 事業所運営の安定と拡大を図る

・利用者数実績報告

	居宅サービス 作成依頼件数	要支援		要介護区分				
		1	2	1	2	3	4	5
4月	73	5	8	24	18	11	4	3
5月	73	4	9	24	16	12	5	3
6月	72	4	7	23	17	13	5	3
7月	75	4	9	25	17	12	5	3
8月	74	5	8	24	16	12	6	3
9月	73	5	8	24	17	12	4	3
10月	72	5	8	24	18	13	2	2
11月	79	6	11	27	17	13	3	2
12月	80	6	11	28	18	11	3	3
1月	83	6	11	31	17	10	4	4
2月	86	7	13	32	16	9	4	5
3月	83	8	11	29	17	10	3	5
合計	923	65	114	315	204	138	48	39

年間給付管理件数 923 件

月平均 76.9 件

※ 平成 30 年 11 月より特定事業所加算Ⅲを取得

あんしんすこやかセンターや他事業所、医療機関との連携を図り、新規利用者の獲得に努めた。

入院時情報連携加算、退院・退所加算、ターミナルケアマネジメント加算の算定を確実にできるように、医療機関との連携を行った。

### 職員の在籍者

管 理 者	田中 佳代	平成 25 年 10 月 1 日～
介護支援専門員	佐藤 文枝	平成 29 年 7 月 1 日～
介護支援専門員	北澤 慶太	平成 30 年 8 月 1 日～

#### (3) 在宅生活継続への支援

支援を通し利用者の残存能力や介護者の介護力をアセスメントし、その都度必要なサービスを見直し利用者や家族が安心して在宅生活が継続できるように努めた。

また、自立支援と重度化予防の視点をもってケアマネジメントを行い、可能な限り自宅での生活が継続できるように支援を行った。

担当が不在時にも困らないよう記録をきちんと行い、内容を把握できるようにわかりやすく整理した。

#### (4) 関係機関との連携

地域の情報の把握やセンター開催の会議や勉強会に積極的に参加し交流を行った。

サービス提供地域内（西区／垂水区／明石市）の地域包括支援センターやサービス事業者と連携を図る中で担当依頼や紹介をして頂くことができるように信頼関係の構築に努めた。

困難事例の相談や報告を行い、地域包括支援センターと連携し利用者支援に努めた。実績報告の際には、毎月地域包括支援センターを訪問し、利用者の近況を伝えるとともに受け入れ状況を伝え、緊急な依頼にも迅速に対応した。

#### (5) 介護支援専門員としての資質の向上とメンタルケア

週一回の事業所内での会議、月一回の居宅会議を開催し、困難事例の情報の共有課題の分析や検討を行い適切な助言を得ることができるように支援を行った。

二ヶ月に一回、居宅会議開催時に勉強会を実施した。

勉強会は担当制にすることで職員の意識の向上に努めた。

他法人との事例検討会の開催、あんしんすこやかセンターの開催する事例検討会に参加し、勉強の機会だけでなく地域の関係機関との関係作りに努めた。

職場内のチームワークを大切にし、相談しやすい場を作ることで人間関係作りに努め、心身ともに健康で働きやすいと感じる職場作りに努めた。

居宅内勉強会（居宅塩屋と共催）

12月	2月
福祉用具について	訪問時のマナーについて

他法人との事例検討会

12月11日18:15よりエルダービレッジにて開催

(6) NO 事故を目指す

運転時にはスピード、マナーを守り事故なく務めることができた。

【苦情受付】 0件